

# 平成21年第3回臨時議会が

## 開かれました

11月17日に開催された平成21年第3回臨時議会では、決算2件について、委員長報告、討論、採決を行い、どちらも認定しました。また、職員の期末・勤勉手当の支給率の改定を行うための「職員の給与に関する条例の一部改正」など、議案4件が上程され、すべて提案とおり可決しました。

### 常任委員会に付託して

#### 本会議で可決した案件

##### 【総務委員会付託案件】

●職員に関する条例の一部改正

国家公務員の一般職の職員の給与の改定に合わせて、本市職員の給与の改定その他所要の規定を整備するもの。

##### 〈反対討論〉

日本の公務員にはストライキ権がなく、ILOからも指摘されている。引き下げにより経済に悪影響を及ぼし、財政悪化にもつながる。大事な市民サービスの向上のため、現場で働く職員の一時金の引き下げは認められない。

##### ●教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

一般職の職員の給与の改定に合わせて、教育長の期末手当の支給

率を改定するもの。

●特別職の職員等の給与、旅費等に関する条例の一部改正

一般職の職員の給与の改定に合わせて、市議会議員並びに市長及び副市長の期末手当の支給率を改定するもの。

##### 〈賛成討論〉

マネー経済の破綻の後処理や税収不足を当然政治家は受けとめなければならず、今回の引き下げ案に賛成する。

●職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

国家公務員の一般職の職員の取扱いに準じて、本市職員の勤務時間を短縮するとともに、所要の規定を整備するもの。

### 平成20年度決算を認定しました【決算特別委員会付託】

#### 〈決算特別委員会の審査概要〉

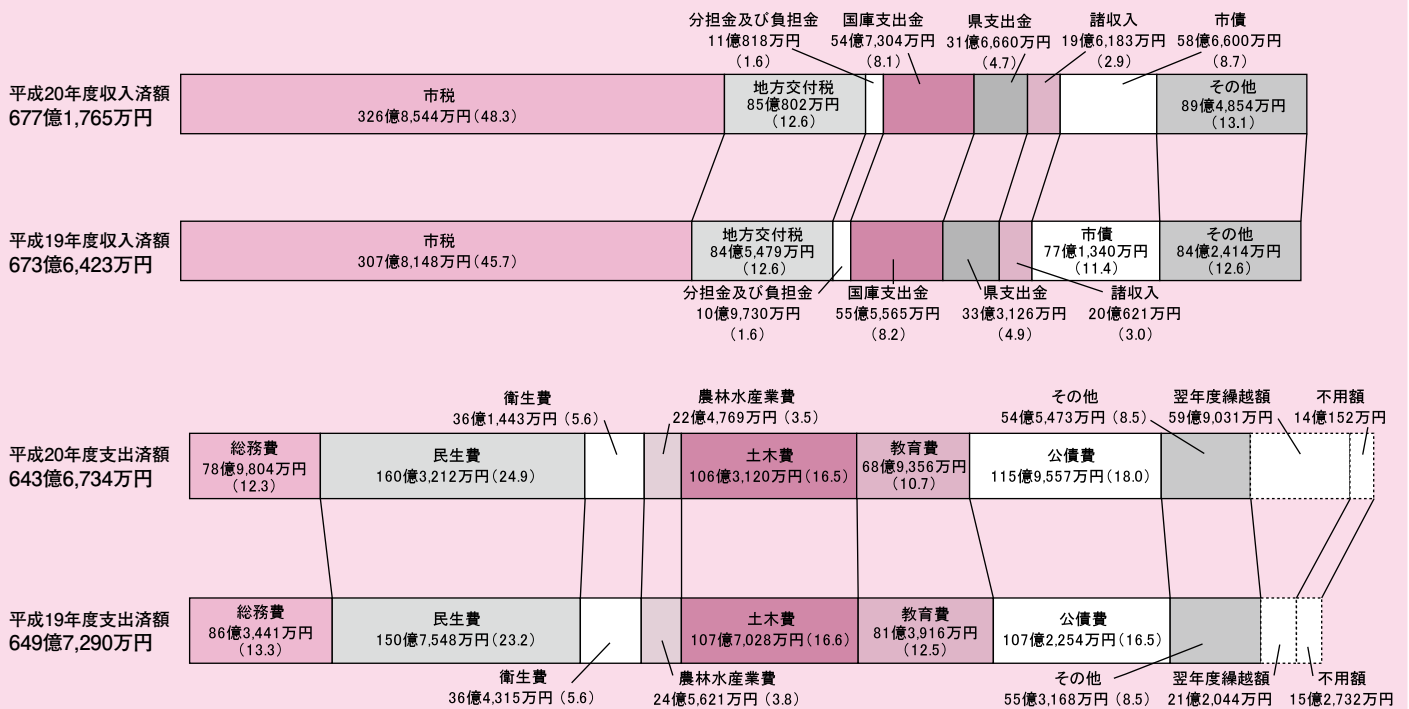
●平成20年度歳入歳出決算

- ▽委員からの主な指摘・要望事項
- ・不用額の削減と安易な流用の防止
- ・調査研究における大学の活用
- ・補助金の目的や計画性の明確化及び、成果や効果の検証実施
- ・より一層の収納率向上対策の実施
- ・公共下水道事業特別会計における、長期的な事業計画の推進

#### 〈委員会での反対討論〉

厳しい経済情勢の中、第1次産業や中小零細業者、福祉や教育に予算配分していただきたい。

## ■一般会計決算



\* 不用額は「予算総額 - 支出済額 - 翌年度繰越額」  
\* ( )内の単位は%

■特別会計決算

(単位：万円)

会計名		歳入	歳出
住宅新築資金等貸付事業		1,402	1,402
公共下水道事業		718,673	713,264
東広島中核工業団地汚水処理施設事業		1,487	1,487
原地区工業団地汚水処理施設事業		369	369
志和流通団地汚水処理施設事業		1,157	1,157
黒瀬地区工業団地汚水処理施設事業		588	588
河内臨空団地汚水処理施設事業		2,400	2,400
農業集落排水事業		27,399	27,399
ひがしひろしま墓園管理事業		2,954	2,851
特定地域生活排水処理事業		1,139	1,139
安芸津港湾事業		1,485	1,485
国民健康保険	事業勘定	1,329,582	1,329,119
	直営診療施設勘定	6,653	6,653
後期高齢者医療		120,931	120,642
老人保健		158,407	159,741
介護保険	保険事業勘定	965,685	939,370
	介護サービス事業勘定	141,809	141,809

■水道事業会計決算

(単位：万円)

収益的収入	419,086
収益的支出	425,561
資本的収入	149,505
資本的支出	253,516

資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税等で補てんした。

《本会議での反対討論》

一般会計、国民健康保険会計、介護保険会計、後期高齢者医療会計、老人保健会計及び水道会計決算に反対する。

国民健康保険会計については、加入者の所得は低下しているが、国が負担率を引き下げたことにより保険料が増え、短期保険証や資格証の発行のために、その発行をやめるべきだと考え、反対する。

後期高齢者医療会計については、

広域連合が運営するため市民の声が届かないこと、2年に1度の保険料の引き上げが決まっており滞納者も増加していることなど、問題が多いため、老人保健会計に戻すことを要望し、反対する。

老人保健会計については、後期高齢者医療制度に反対のため、制度移行に伴う支出は認められない。

介護保険会計については、保険料が改定のために引き上げられているが、市民の収入が減っている今こそ、負担軽減のために基金を取り崩すべきであり、また、利用し難い現在の制度を改めるよう、国に要望すべきだと考え、反対する。

●平成20年度水道事業会計決算

- ▽委員からの主な指摘・要望事項
- ・配水量の増加等による経営改善
- ・県用水に頼らない自己水源の確保

《本会議での反対討論》

先般、基本水道料金を引き上げたが、低所得者にはまさに死活問題である。国には財政健全化法廃止を求め、県には受水費の負担軽減を求め、一般会計からの繰り入れを図るべきだと考え、反対する。

《本会議での賛成討論》

地方自治体は法律に逆らえない。法律が気に入らないということが決算を認定する反対の理由には当たらない。さまざま指摘することはあるが、認定に値しない理由は見つからないという理由によって、この決算を認定したいと考える。

行政視察報告

総務委員会

- 日時／11月4日～11月6日
- 視察地／岐阜市・浜松市・救急振興財団

岐阜市では、「協働のまちづくりについて」視察を行った。平成15年度から市民と行政の協働の仕組みの確立を目指し、まちづくり指針の策定や地域力創生事業などに取り組み、住民自治基本条例を制定している。

静岡県浜松市では、膨大な保有財産を、経営の視点で見直しや処分・活用などを行う「資産経営の取り組みについて」視察を行った。

財団法人救急振興財団では、「救急救命士の養成等について」視察を行った。ここでは、年間600名の消防隊員を受け入れ、7か月間、救急救命士の養成を目的に、教育訓練が実施され、高い合格率を誇っている。これらの先進事例を、本市で取り組む施策に反映させていきたい。



総務委員会行政視察（財団法人救急振興財団）



### 文教厚生委員会

●日時／10月13日～10月15日

●視察地／宇都宮市・掛川市・彦根市  
栃木県宇都宮市では、子ども発達センター「ここ・ほっと」について視察を行った。ここでは、保育園や障がい者地域生活支援センター等が集まる複合施設である特徴を生かし、地域でのノーマライゼーションの推進拠点としての役割も担っている。

静岡県掛川市では、全国に先駆けて平成15年から順次、幼稚園と保育園を統合し、保育を行いながら幼児教育を実施している「幼保一元化の取り組み」について視察を行った。

滋賀県彦根市では、「ひこね元気計画21」について視察を行った。「元気」をキーワードに、市民が主体となってさまざまな事業を計画して取り組み、肥満の改善や運動を行う人の増加等、市民の健康増進につながっている。

これらの視察事項を参考に、本市で取り組む施策に生かしていきたい。



文教厚生委員会行政視察（宇都宮市）

### 市民経済委員会

●日時／10月13日～10月15日

●視察地／安城市・福井市・西宮市



市民経済委員会行政視察（西宮市）

愛知県安城市では、「ごみ減量20%」を目標に掲げ、行政・市民・事業者が一体となり、取り組んでいる様々な施策についての視察を行った。

福井市では、将来性のある生産物「二押し」の逸品の育成、米粉活用商品の開発・販売やものづくりに取り組む中小企業者への支援などの施策によって「競争力ある産業都市」を目指す取り組みについて視察を行った。

兵庫県西宮市では、地域住民・地域事業者・市職員などが協力して、住み良い環境づくりを目指す活動「エココミュニケーション会議」についての視察を行った。この活動は、中学校区を目安に活動区域とし、それぞれの地域が「エコ」をテーマとして、活動内容を自主的に決定して取り組んでいる。

今回視察を行った事業を参考に、本市の今後の施策に生かしていきたい。

### 建設委員会

●日時／10月27日～10月29日

●視察地／函館市・船橋市・横須賀市

北海道函館市では、人口や店舗の郊外移動により空洞化したかつての中心市街地を、拠点整備などのハードと官民協働によるソフトの対策により活性化させる事業について視察した。

千葉県船橋市では、ライフサイクルコストなど総合的な公共事業のコスト削減により、基準年度と比較して、毎年3%以上の削減率を達成している「公共事業コスト構造改善プログラム」について視察した。

神奈川県横須賀市では、入札の競争性や透明性を確保しながら、公共工物品質を確保する一つの手法として、「工事成績条件付き入札制度」について視察した。

今回視察を行ったコスト削減と品質確保対策は、執行機関に事業の過程で参考にしてもらうと共に、議会でも、委員会審査などに生かしたい。



建設委員会行政視察（船橋市）

### 議会会報委員会

●日時／11月4日～11月5日

●視察地／全国市議会議長会・千代田区



議会会報委員会行政視察（全国市議会議長会）

全国市議会議長会では、日本中の他市の議会だよりを閲覧した。その中でもコンクールで賞をとったものの、本市ではまだ取り組んでいない議員の賛否一覧の掲載や行政課題に対する調査を行う特集記事などを掲載しているものなど、特徴的な記事が参考になった。また、市民との意見交換会など、先進的な議会の取り組みについても視察した。

東京都千代田区議会では、「情報公開条例」「電光表示板式投票システム」「ホームページ」など、議会からの情報提供全般に渡る先進的な取り組みについて視察した。

市民に対する説明責任を果たし、透明度の高い議会にするため、今回の視察内容を、インパクトがあり読みやすい議会だよりや効果的なホームページの作成などに役立てたい。

視察報告の詳細は、ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

東広島市ホームページアドレス <http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/>